

問1 古墳時代の中期ごろ、朝鮮半島から伝えられた技術によってつくられるようになった、高温の窯で焼かれた硬質の灰色の土器を何といいますか。 （2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 須恵器 2. 土師器 3. 弥生土器 4. 縄文土器

問2 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 （2024年 三重公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。
2. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
3. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。
4. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。

問3 5世紀の大和政権は、朝鮮半島から得た鉄資源をどのように活用して国内の支配を広げたとされていますか。当時の状況を説明したものとして最も適切なものを選んでください。 （2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 鉄製の武器や鎧を量産して軍事力を高め、関東から九州にかけての広範囲な地域の豪族を支配下に置いた。
2. 鉄製の鏡や装飾品を大量に作り、それらを各地の豪族に配ることで宗教的な権威を認めさせた。
3. 鉄製の貨幣を鑄造して全国に流通させ、租・庸・調の税制を確立することで経済的に支配した。
4. 鉄製の大型船を建造して中国の唐と直接貿易を行い、最新の法制度を取り入れることで中央集権化を進めた。

問4 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 （2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。
2. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。
3. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。
4. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。

問5 古墳時代のヤマト政権における、大王と豪族の関係性や政治の仕組みについて述べたものとして、正しいものはどれですか。 （2026年 和歌山公立入試 類似）

1. 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らを従えることで政権を運営した。
2. 大王はすべての豪族を武力で排除し、対等な関係を持つ勢力が存在しない独裁体制を築いた。
3. 大王は中国の皇帝から派遣された官僚であり、豪族の意見を聞かずに政治を行った。
4. 大王は宗教的な権威のみを持ち、実際の政治や軍事の権限はすべて豪族が握っていた。

問6 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 （2020年 三重公立入試 類似）

1. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。
2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。
3. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。
4. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。

問7 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。 （2024年 三重公立入試 類似）

1. 南朝 2. 北朝 3. 隋 4. 唐

問8 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 （2021年 島根公立入試 類似）

1. 遣隋使 2. 防人 3. 渡来人 4. 御家人